

令和6年(2024年)11月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年11月 数 量 (トン)	2024年11月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	千葉県産・神奈川県産中心の入荷でした。天候の影響により入荷量はやや減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	741	140	95%	177%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。数量はやや増加しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	885	88	105%	157%
3		きゅうり	群馬県産・埼玉県産・千葉県産・宮崎県産中心の入荷でした。定植時期の高温の影響で各産地の生育不良が目立ち、入荷量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	202	668	71%	203%
4		ね ぎ	東北産・埼玉県産中心の入荷でした。入荷量はやや増加しました。平均単価は平年並みに推移しました。	164	499	103%	98%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり低く推移しました。	484	122	107%	63%
6	果 実	みかん	夏の猛暑の影響で、生理落下が多いところに障害果の多発やカメムシ被害により、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	587	391	72%	129%
7		りんご	開花から着果時の天候不順で着果が良くなく、猛暑の影響で生理落下の多発があり入荷量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	150	453	66%	113%
8		か き	カメムシ被害や猛暑の影響を受け、入荷量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	193	362	80%	105%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-) 3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上